

J R 美祢線及び山陰線の早期復旧等に係る要望について

山口県では、梅雨前線の停滞により、記録的短時間大雨が観測されたほか、線状降水帯も発生するなど、6月30日（金）1時の降り始めから7月1日（土）16時までの降水量が、多いところで約300mmを記録する大雨となり、県西部を中心に多数の家屋浸水、道路の法面崩壊等による交通網の寸断など、多大な被害が発生いたしました。

鉄道においても河川の増水等により多大な被害が発生し、とりわけ、J R 美祢線と山陰線において、河川に架かる鉄道橋梁の流失や傾斜など甚大な被害を受け、今後の復旧の見通しが全く立たない状況となっており、地元には大きな不安や影響が生じております。

こうした中、西日本旅客鉄道株式会社におかれては、発災直後からの現地調査など、迅速に対応いただき感謝申し上げます。

申すまでもなく、美祢線は山陽と山陰、山陰線は下関から京都を結ぶ重要な鉄道路線として、地域経済の発展や観光振興に貢献するとともに、通勤・通学などの生活路線として重要な役割を担う、本県にとってかけがえのない貴重な財産であり、今後も、御社とともに、利用促進に向けてしっかりと取り組んでいきたいと考えています。

こうしたことを踏まえ、次の事項について全力でお取り組みいただきますよう強く要請をします。

- 1 被災箇所の早期復旧を図り、速やかに運行再開を行うこと。
- 2 運行再開までの間、通勤・通学等の利用者の移動に支障が生じないように、早急に代替バス等の確保・運行を行うこと。

令和5年7月3日

山口県知事 村岡嗣政